

大阪国際がんセンターひな形(複数施設研究用 様式第 1-5): 2018 年 4 月 1 日版
大阪医療センター版: 2026 年 3 月 25 日版 (第 4 版*) *整理番号 19056 より引き継ぎ。

大阪がん診療実態調査

1. 研究の対象

2010 年 1 月～2023 年 9 月に当院でがん診療を受けられた方

2. 研究目的・方法

がん医療の均てん化に向けて、大阪府内のがん診療拠点病院のがん診療の実態を調べることを目的とします。大阪府がん登録資料と院内がん登録資料と DPC データとを合わせて分析し、診療ガイドラインで推奨されている標準的治療の各病院での実施割合などの診療の実態を調べ、さらに、高齢またはがん以外の持病を有するがん患者に対するがんの標準的治療の有効性を検証します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 病歴、治療歴、年齢、カルテ番号 等

4. 外部への試料・情報の提供

大阪国際がんセンターがん対策センターへのデータの提供は、データを保存した記録媒体を書留等の追跡できる郵送手段にて、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

大阪府内のがん診療拠点病院 65 機関

6. 研究期間

研究許可日から 2028 年 3 月 31 日まで

7. 医学研究に係る資金源

日本学術振興会の科学研究費補助金 (課題番号 16K19291、研究課題名:「がん登録と DPC データの連携: がん医療の均てん化と医療情報基盤の発展に向けて」、研究期間: 平成 28～令和元年度)。

厚生労働科学研究費補助金・がん対策推進総合研究事業 (課題番号: 18062643、研究課題名:「がん診療連携拠点病院等における医療提供体制の均てん化のための評価に既存資料を活用する」、研究期間: 平成 30～令和 2 年度)。

8. 利益相反

臨床研究における利益相反（COI（シーオーアイ）：Conflict of Interest）とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反についてはそれぞれの機関の利益相反審査委員会で審査され、適切に管理されています。

9. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

情報等の当該研究利用の停止についてご連絡いただいた場合、それまでに収集した情報等は使用いたしません。あなたの情報等のみを取り除くことができない場合（既に研究の結果が公表されている場合等）は使用させていただき、廃棄できない可能性があることをご了承ください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

- ・大阪国際がんセンターがん対策センター 森島 敏隆（研究代表者）

541-8567 大阪市中央区大手前 3-1-69 TEL 06-6945-1181

- ・国立病院機構大阪医療センター医療情報部 間島 行則

540-0006 大阪市中央区法円坂 2-1-14 TEL 06-6942-1331